

済生会八幡総合病院

研修医 牟田 隆則 2013年12月

平成25年12月の一ヶ月間、出水総合医療センターを中心に、初期臨床研修プログラムの地域医療研修をさせていただきました。済生会八幡総合病院研修医2年時の牟田隆則と申します。

実は先月も地域医療研修を長崎県の平戸市で研修して参りました。自宅を離れて2ヶ月ですが、研修に関係するすべてのスタッフ・地域の患者様に温かく支えられて、毎日楽しく研修と生活を送る事ができました。

研修は、出水総合医療センターだけでなく、高尾野診療所、野田診療所、大川内診療所、上場診療所、出水保健センター、特別養護老人ホームなど様々な施設で行いました。

院内では循環器科、外科を中心に研修を行い、土曜日には救急外来のオンコールを経験させていただきました。

また、夜間1次救急診療も経験させていただきました。自分が研修している施設では夜間にほとんどの検査を行う事が可能ですので、身体所見と問診を中心に鑑別を行う事は非常に勉強になりました。

救急対応は、都市圏ではある程度の疾患を救急隊が病院に振り分けを行っていますが、地域では内科、外科、脳神経外科、小児科といった様々な患者さんを診ていく幅広い知識が必要になります。

また、都市の医療圏では考えられないような強固な病診連携、診療の合間を縫っての往診は、地域医療を経験させていただいた中でも印象的でした。

現在研修を行っている北九州は、ある程度設備と診療科の整った病院がたくさんあり、患者さんが病院を選べる状態にあります。その中で生活している私にとっては、驚いた事もたくさんあります。今後もこの経験を生かせる場があると思いますし、都市圏との地域格差を再認識させられた研修でありました。

医師になって1年と数ヶ月経ちましたが、医師としての未熟さを痛感させられています。優秀なスタッフに囲まれ、指導医の先生方のアドバイスがあって、今の自分が存在できている事を痛感させられました。

1ヶ月と医師人生の中では短い期間かもしれませんが、私にとって濃密な時間でした。北九州では経験できないことを色々経験できたように思えます。将来は、私も地域医療を担えるような医師になりたいという目標を掲げる事ができました。

最後に私の研修に関わった全ての皆様に、感謝申し上げますとともに、この経験を糧に毎日少しずつ医師として人として成長できるように精進して参ります。

1ヶ月間、本当にお世話になりました。